

令和7年度 土木工事積算基準等の改定について

福島県土木部技術管理課
令和7年10月

1. 令和7年10月1日に改定する基準について

- ①土木工事標準歩掛の改定
- ②施工パッケージ関係歩掛の改定
- ③建設機械等損料の改定
- ④電気通信に関する歩掛等の改定
- ⑤機械設備に関する歩掛等の改定
- ⑥建設機械等損料表の一部改正
- ⑦その他

2. 週休2日等工事試行要領の改定について

- ①週休2日等工事試行要領の改定(完全週休2日、月単位)

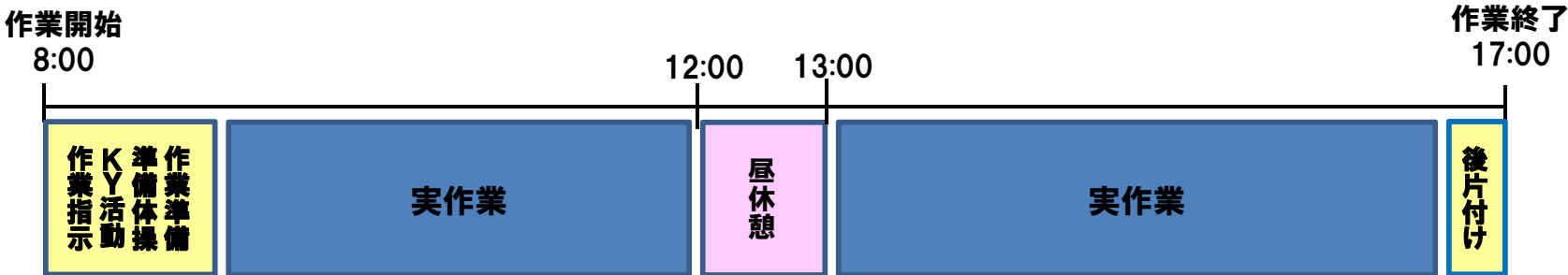
1. 令和7年10月1日に改定する基準について

①土木工事標準歩掛の改定（移動時間等を踏まえた歩掛改定）

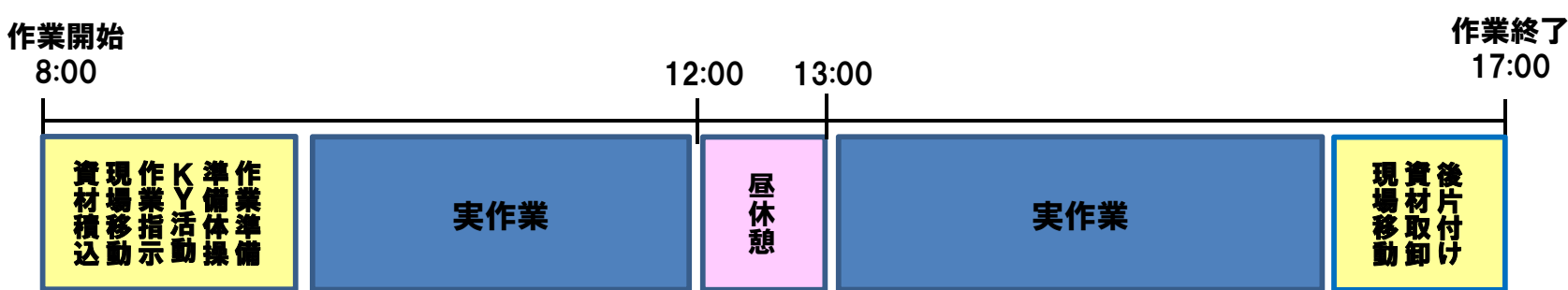
時間外労働の上限規制対応【移動時間を考慮した歩掛の改正】

- KY活動や準備体操、現場内の移動時間や後片付け等は一日の作業時間(就業時間)に含まれており、標準歩掛においても適切に反映されている。
- 路上工事など常設の作業帯が現場に設けられない工事において、別途設けられた資材基地から現場への移動時間を適切に反映できるよう、令和4年度に調査表の全面見直しを実施。
- 令和6年度は、路上工事だけでなく仮設工事においても同様の傾向が見られたことから、これを適切に反映。

■従前の作業時間(イメージ)



■移動時間を踏まえた作業時間(イメージ)



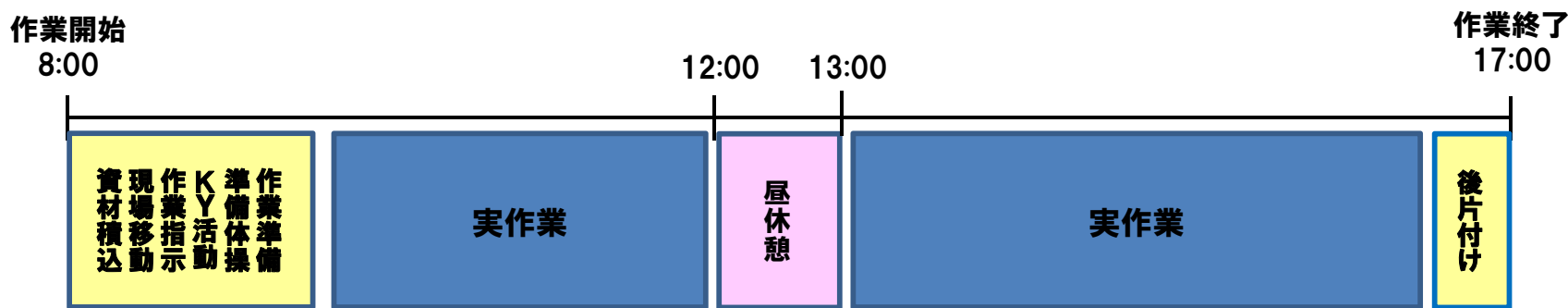
- 切削オーバーレイ工など**10工種**で、現場移動等により実作業時間が短くなり、日当たり施工量が減少している傾向が見られた。⇒R7年度歩掛改正に反映
- 切削オーバーレイ工、構造物補修工(断面修復工)、油圧圧入引抜工、床版補強工、塵芥処理工、排水構造物工(暗渠排水管)、路盤工、路盤工(ICT)、透水性アスファルト舗装工、沓座拡幅工

①土木工事標準歩掛の改定（移動時間等を踏まえた歩掛改定）

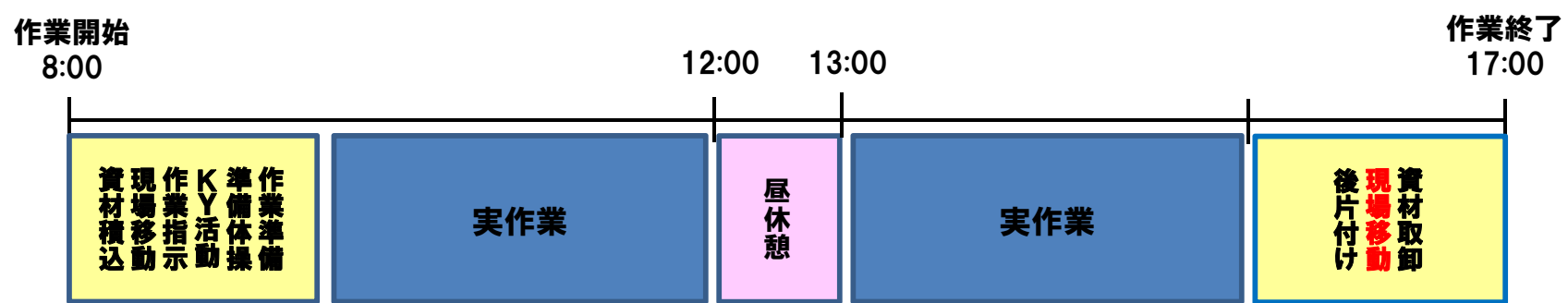
時間外労働の上限規制対応【建設機械の回送時間を考慮した歩掛の改正】

○ 令和6年度は、建設機械を日々回送して使用する工種において、日当たり施工量に変動が見られたことから、これを適切に反映。

■従前の作業時間(イメージ)



■移動時間の増加により変化した作業時間(イメージ) ※日々回送する移動式クレーン



○ 鋼橋架設のベント設備にかかる工種において、移動式クレーンが日々回送することで実作業時間が短くなり、日当たり施工量が減少している傾向が見られた。 ⇒令和7年度歩掛改正に反映

鋼橋架設工(ベント設備設置・撤去、ベント基礎設置・撤去)

①土木工事標準歩掛の改定 令和7年度 改定概要

- 土木工事標準歩掛は、土木請負工事費の積算に用いる標準的な施工条件における単位施工量当たり、若しくは日当たりの労務、材料、機械等の規格や所要量について工種ごとにとりまとめたものです。
- 「施工合理化調査等の実態調査」の結果を踏まえ、新規工種の制定及び既存制定工種の改定を行いました。



令和7年度は、計14工種の改定を実施

(1)新規制定【3工種】

①排水材設置工(水平排水層)、



排水材設置工

②中層混合処理工(ICT)、



中層混合処理工(ICT)

③切削オーバーレイ工(ICT)



切削オーバーレイ工(ICT)

(2)使用機械、労務等の変動により改定を行う工種【6工種】

- ①スラリー攪拌工、②全回転オールケーシング工、③残存型砕工、
④締切排水工、⑤雪寒仮囲い工、⑥大型土のう工

(3)移動時間を踏まえた制定を行う工種【4工種】

- ①構造物補修工(断面修復工)、②切削オーバーレイ工、③油圧圧入引抜工、④床版補強工

(4)建設機械の回送時間を考慮した改定【1工種】

- ①鋼橋架設工

鋼橋製作工の歩掛について、製作現場の実態を踏まえ改定

● 製作費

鋼橋製作費 本体製作工
加工組立工数(標準工数(人／個))

種 別		現行	改定
丸型鋼橋脚	a1 大型	6. 39	6. 76
	a2 小型	0. 54	0. 57

鋼橋製作費 本体製作工
仮組立て工数(標準工数(人／個))

種 別		現行	改定
鋼床版鈑桁	c	3. 61	4. 17
アーチ	c	2. 55	2. 70

鋼橋製作費 付属物製作工数 伸縮継手(標準工数(人／ t))

形 式		現行	改定
フィンガー形式 (J - 1)	d	11. 2	15. 3
車道部はフィンガー形式 歩道部重ね合わせ(踏板)形式 (J - 2)	d	12. 2	14. 9

②施工パッケージ型 積算方式関係の改定概要

- 施工パッケージ型積算基準は、土木請負工事費の積算に用いる標準的な施工条件における機械経費、労務費、材料費を含む単位施工量当たり「単価」を工種区分毎に設定したものです。
- 「施工合理化調査等の実態調査」の結果を踏まえ、施工パッケージ型積算基準及び標準単価表の改定を行いました。

(1)使用機械、労務等の変動により改定を行う工種【4工種】

- ①発泡スチロールを用いた超軽量盛土工、
- ②護岸基礎ブロック工、③舗装版クラック補修工、
- ④消波根固めブロック工



発泡スチロールを用いた
超軽量盛土工



消波根固めブロック工

(2)移動時間を考慮した工種【6工種】

- ①排水構造物工（暗渠排水管）、 ②塵芥処理工、
- ③路盤工、④路盤工（ICT）、⑤透水性アスファルト舗装工、
- ⑥沓座拡幅工



路盤工(ICT)



排水構造物工(暗渠排水管)

「施工パッケージ型積算方式標準単価表(参考資料)」の公表

施工パッケージ型積算方式の理解向上に資するため、施工パッケージ標準単価の代表機材規格のうち、**代表機械規格及び代表労務規格の参考数量(積算単位当たりの労務の人工数や機械の運転日数等)**を「施工パッケージ型積算方式標準単価表(参考資料)」として、**国土技術政策総合研究所HPに掲載(令和7年3月末公表)**。

(https://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm)

改定を行った工種 【1工種】

無停電電源設備設置工

試行基準から本基準への移行に伴い、屋外用無停電電源装置据付・調整を追加

3-4 屋外用無停電電源装置据付・調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	電工	トラッククレーン 賃料（日）	摘要
屋外用無停電電源装置 据付・調整	1kVA以上	台	0.5	0.5	0.7	0.13	

（注）1. トラッククレーンは、4.8t～4.9t吊りを標準とする。

改定のポイント

- 機械設備積算基準は、土木機械設備請負工事費等の積算に用いる標準的な施工条件における労務工数、材料数量、直接経費等の所要量についてとりまとめたもの。
- 実態の結果を踏まえ、既存制定工種の歩掛及び諸経費を改定。
- 技術基準類の改定に伴い、既存制定工種歩掛の作業範囲を改定。

(1) 機械設備工事積算基準の改定

実態調査の結果、現行の積算基準との乖離が見られたため改定

- ①河川用水門設備における二次コンクリート及び型枠費
- ②揚排水ポンプ設備における低圧受電の場合の受電設備据付材料費
- ③工場及び現場塗装におけるプライマー処理並びにエアレススプレー塗りの歩掛

(2) 機械設備点検・整備積算基準の改定

実態調査の結果、現行の積算基準との乖離が見られたため改定

- ①ダム用水門設備の共通仮設費率

技術基準類の改定に伴う作業範囲の改定

- ①トンネル換気設備の標準点検工数（月点検・年点検）

- 建設機械損料は、土木請負工事費の積算に用いる機械経費であり、建設業者が所有する建設機械等の償却費、維持修理費、管理費等を取りまとめたもの
- 移動式クレーンの規格別能力表について、一部見直しによる改正

⑦その他(土木請負工事における現場環境改善費の積算について)

工 事

- 従来の積算では、ミストファン等の設備対応を共通仮設費（現場環境改善費）、経口保水液・空調服等の労務管理にかかる費用を現場管理費(真夏日の日数に応じて補正)にて計上。
- 工期設定では、猛暑日を考慮して設定。想定以上に猛暑日が確認された場合、適切に工期変更(延長)を行い、工期延長日数に応じて増加費用を計上。
- 令和7年度より、「現場環境改善費」(率計上)から避暑（熱中症対策）・避寒対策費を切り離し、熱中症対策・防寒対策にかかる費用を「現場環境改善費」（率計上）の50%を上限に、設計変更を実施。

<共通仮設費（現場環境改善費）>

現行	
率計上費目	実施する内容（率計上分）
現場環境改善（仮設備関係）	1. 用水・動力等の供給設備 2. 緑化・花壇 他
現場環境改善（営繕関係）	1. 現場事務所の快適化 2. 労働宿舍の快適化 他
現場環境改善（安全関係）	1. 盗難防止対策 2. イメージアップ経費 3. 避暑（熱中症対策）・避寒対策
地域連携	1. 見学会の開催 2. デザイン工事看板 他

※計上費目 4 項目から 5 つ選択（1 項目重複）



今後	
率計上費目	実施する内容（率計上分）
現場環境改善（仮設備関係）	1. 用水・動力等の供給設備 2. 緑化・花壇 他
現場環境改善（営繕関係）	1. 現場事務所の快適化 2. 労働宿舍の快適化 他
現場環境改善（安全関係）	1. 盗難防止対策 2. イメージアップ経費
地域連携	1. 見学会の開催 2. デザイン工事看板 他

※計上費目 4 項目から 5 つ選択（1 項目重複）

| 積み上げ計上費目（精算時の設計変更対象） | |
| 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、対策の妥当性を確認の上、設計変更。なお、積み上げ計上の場合は、現場管理費に計上される作業員個人の費用と重複がないことを確認し、率分で計上される現場環境改善費の50%を上限。 | |

2. 週休2日等工事試行要領の改定について

1 主な改定内容

○ 工事費の補正

- ・「完全週休2日」の補正係数を新たに設定
- ・「月単位の週休2日」の補正係数の改定
- ・「通期の週休2日」の補正係数の廃止
- ・ 機械賃料の補正係数の廃止

R7年度の週休2日補正係数

<現場閉所>	工期単位(4週8休)	月単位	週単位(完全週休2日(土日))
	補正無し	労務費:1.02 共通仮設費:1.01 現場管理費:1.02	労務費:1.02 共通仮設費:1.02 現場管理費:1.03
<交替制>	工期単位(4週8休)	月単位	週単位(完全週休2日)
	補正無し	労務費:1.02 現場管理費:1.02	労務費:1.02 現場管理費:1.03

- 新たに完全週休 2 日（土日）の新たな補正係数を設定。主なポイントは下記のとおり。
- 令和7年10月1日以降に起工する工事に適用する。

① 現場閉所による週休 2 日制適用工事の補正係数等

- 週休 2 日（現場閉所）の補正係数
- ・現場閉所の状況に応じた週休 2 日の経費補正を実施。
 - ・月単位の週休 2 日とは、対象期間において、全ての月で 4 週 8 休以上の現場閉所を行ったと認められる状態。
 - ・完全週休 2 日（土日）とは、対象期間の全ての週において、土日に現場閉所されている状態。
 - ・完全週休 2 日（土日）適用工事については、労務費、共通仮設費、現場管理費の補正係数を実施。

R7年度	月単位の週休 2 日	完全週休 2 日（土日）
労務費	1.02	1.02
共通仮設費	1.01	1.02
現場管理費	1.02	1.03

② 週休 2 日交替制適用工事の補正係数等

- 週休 2 日交替制適用工事の補正係数
- ・対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の平均休日数の割合（以下「休日率」）に応じた経費補正を実施。
 - ・月単位の週休 2 日交替制とは、対象期間の全ての月において、技術者及び技能労働者が交替しながら、休日率を 4 週 8 休以上確保。
 - ・完全週休 2 日交替制とは、対象期間の全ての週において、技術者及び技能労働者が交替しながら、1 週間に 2 日間以上の休日確保。
 - ・労務費、現場管理費の補正係数を実施。

R7年度	月単位の週休 2 日	完全週休 2 日
労務費	1.02	1.02
現場管理費	1.02	1.03

- 市場単価方式においても、完全週休2日（土日）適用工事（※交替制については、完全週休2日交替制適用工事）の補正係数を導入。
- 土木工事標準単価による積算においても、完全週休2日（土日）適用工事（※交替制については、完全週休2日交替制適用工事）の補正係数を導入。
- 土木工事標準単価について、フレア溶接工、H型ボラード設置工、橋梁用水切り材設置工が令和7年度から新たに設定されることから、この3工種についても新たに補正係数を設定し、適正な積算を実施。

③ 市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上について（頁41）

- 市場単価方式による週休2日の取得に要する費用計上について、完全週休2日（土日）（※交替制については、完全週休2日交替制）および月単位の週休2日の補正係数を乗じ算出。

<適用範囲>

- ・令和7年10月1日以降に入札公告等を行う工事に適用。

④ 土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上について（頁42）

- 土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用計上について、完全週休2日（土日）（※交替制については、完全週休2日交替制）および月単位の週休2日の補正係数を乗じ算出。

<適用範囲>

- ・令和7年10月1日以降に入札公告等を行う工事に適用。

週休2日制工事における市場単価方式の補正

- 市場単価方式による積算について、R3年度より週休2日の現場閉所の実施状況に応じた補正係数を設定
- R7.10.1以降に入札公告等を行う工事より、完全週休2日（土日）、完全週休2日交替制を踏まえた補正係数を設定
- また、交替制適用工事においても週休2日補正を設定

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数（令和7年4月1日以降に入札公告等を行う工事に適用）

名称	区分	補正係数			
		現場閉所		交替制	
		月単位	完全週休2日 (土日)	月単位	完全週休2日
鉄筋工		1.02	1.02	1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01	1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01	1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01	1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02

名称	区分	補正係数			
		現場閉所		交替制	
		月単位	完全週休2日 (土日)	月単位	完全週休2日
法面工		1.01	1.01	1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01	1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01	1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02	1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02	1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02	1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01	1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00	1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00	1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01	1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01	1.01	1.01

週休2日制工事における土木工事標準単価の補正

- 土木工事標準単価による積算について、R6年度より週休2日の現場閉所の実施状況に応じた補正係数を設定
- R7.10.1以降に入札公告等を行う工事より、完全週休2日（土日）、完全週休2日交替制を踏まえた補正係数を設定
- また、交替制適用工事においても週休2日補正を設定

土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数（令和7年4月1日以降に入札公告等を行う工事に適用）

名称	区分	補正係数			
		現場閉所		交替制	
		月単位	完全週休2日 (土日)	月単位	完全週休2日
区画線工		1.02	1.02	1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02	1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01	1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02	1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02	1.02	1.02
鋼製排水溝設置工		1.02	1.02	1.02	1.02
表面被覆工 (コンクリート保護塗装)	固定足場	1.01	1.01	1.01	1.01
	高所作業車	1.01	1.01	1.01	1.01
表面含浸工	固定足場	1.02	1.02	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02	1.02	1.02
連続繊維シート補強工	固定足場	1.02	1.02	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02	1.02	1.02
剥落防止工 (アラミドメッシュ)	固定足場	1.02	1.02	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02	1.02	1.02
漏水対策材設置工	固定足場	1.02	1.02	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02	1.02	1.02
防草シート設置工		1.01	1.01	1.01	1.01

名称	区分	補正係数			
		現場閉所		交替制	
		月単位	完全週休2日 (土日)	月単位	完全週休2日
紫外線硬化型F R Pシート設置工 (ポリエステル樹脂)	固定足場	1.01	1.01	1.01	1.01
	高所作業車	1.01	1.01	1.01	1.01
塗膜除去工		1.02	1.02	1.02	1.02
バキュームブラスト工		1.01	1.01	1.01	1.01
道路反射鏡設置工	設置	1.00	1.00	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
仮設防護柵設置工（仮設ガードレール）		1.02	1.02	1.02	1.02
機械式継手工		1.02	1.02	1.02	1.02
抵抗板付鋼製杭基礎工		1.01	1.01	1.01	1.01
ノンコーキング式 コンクリートひび割れ誘発目地設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
F R P製格子状パネル設置工		1.00	1.00	1.00	1.00
侵食防止用植生マット工（養生マット工）		1.02	1.02	1.02	1.02
支承金属溶射工		1.02	1.02	1.02	1.02
耐圧ポリエチレンリブ管（ハウエル管）設置工		1.02	1.02	1.02	1.02
フレア溶接工		1.02	1.02	1.02	1.02
H型ボラード設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
橋梁用水切り材設置工	固定足場	1.02	1.02	1.02	1.02
	作業車	1.02	1.02	1.02	1.02